

テーマ①

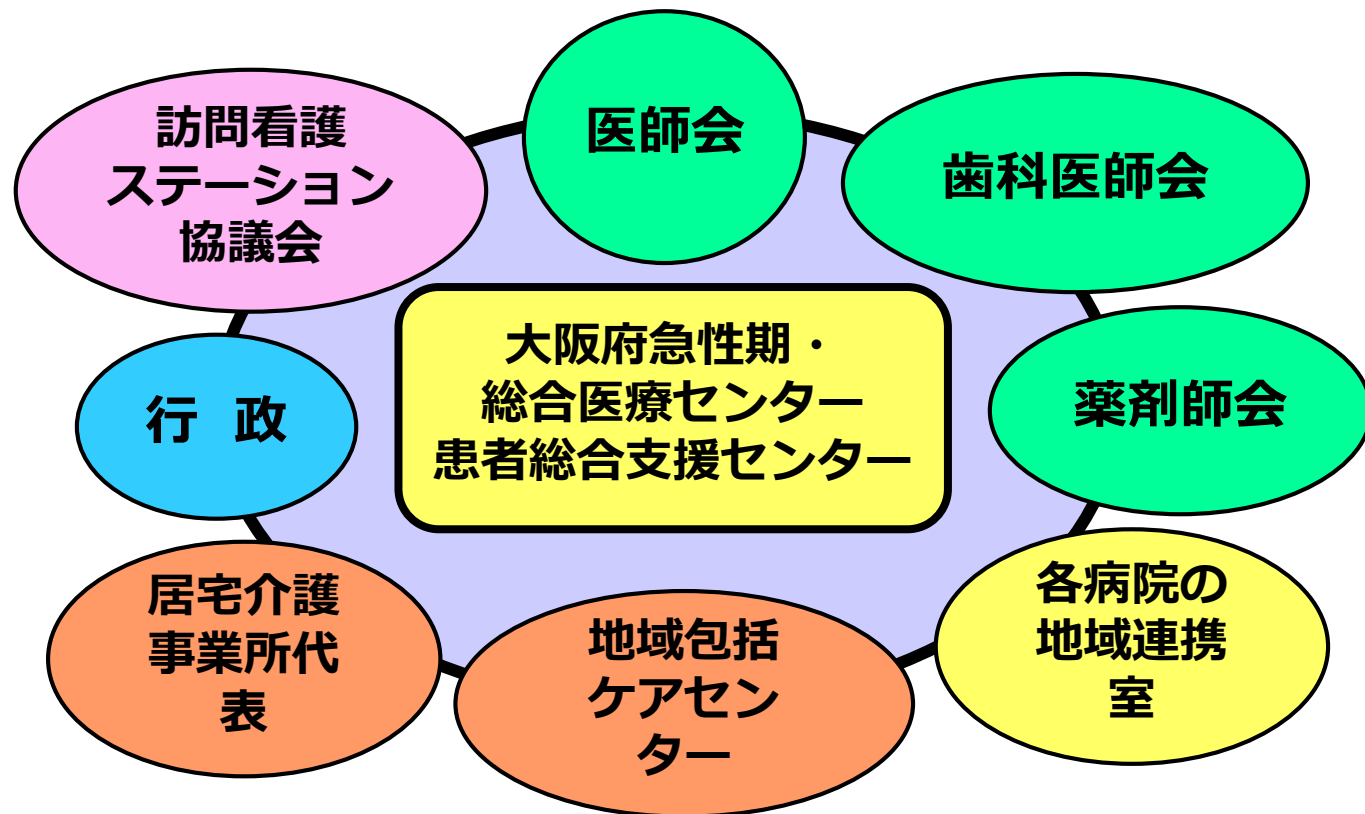
『入退院支援』に関する報告

住吉区在宅医療介護連携相談支援室の取組み

住吉区在宅医療介護連携相談支援室
(受託法人 住吉区医師会)

『住吉どらやきの会』

2012年から発足



* 目的：医療と介護の継続性を踏まえた支援を行うために、会議を通して顔の見える関係を作りより円滑な連携を図っていく。

* 開催

- ・ 毎月1回
ミニどらの会
(大どらの会へのワーキング会議)
情報交換・事例紹介
大どら実施に向けての打ち合わせ
- ・ 年4回
大どらの会

- 平成29年度

「住吉どらやきの会」で、病院内の医療職・MSW・在宅医療職・ケアマネジャーが多数出席したカフェ形式の事例検討会(ロジカルシンキングカフェ)の企画・運営。

医療依存度の高い方の退院から在宅に向けて、情報伝達の不備や思い込みによる誤った認識などで円滑な医療と介護の連携が出来なかった事例を基に「ゼロベース思考」でアイデアを広げ、問題解決をするプロセスを学び、意見や情報を交換し、発表。

このプロセスを繰り返し学ぶことで、徐々に問題解決能力が向上できるようになることが目標。

- 研修や会議でケアマネジャーに相談室への相談例などを発表。
病院からの依頼で退院時カンファレンスに参加。

● 病院との連携シートの活用推進（どらやきシート）

どらやきの会が作成した入院時の連携シート。区内8病院、近隣1病院で使用可能。相談室ホームページに掲載し ケアマネジャー研修で告知

☑該当病院にチェックを入れて下さい（裏面をご確認ください）
大阪急性期総合医療センター あびこ病院 オリオノ病院 阪和記念病院
阪和住吉総合病院 阪和第二住吉病院 阪和病院 阪和第二病院 相原第2病院

医療と介護の連携シート

在宅→病院

私は_____様の在宅での担当ケアマネジャーをしております。この度、ご入院されます利用者様の基本情報です。何かございましたら、担当までご連絡下さい。

(このシートの使用目的)

このシートは、入院時に必要な在宅支援連携における病院側と在宅支援側の担当者間の『つながり』をつくるためのシートです。ご利用者の詳しい情報のやり取りをするものではありません。顔の見える関係をつくるためのきっかけにご活用下さい。

(記入日 平成 年 月 日)

診察券番号 _____

ご利用者様氏名 _____

生年月日 明治・大正・昭和 年 月 日生

介護認定 要支援・要介護 _____

在宅かかりつけ医 あり(医療機関名 _____)・なし

訪問看護 あり(事業所名 _____)・なし

担当ケアプランセンター _____

担当ケアマネ _____

連絡先 _____

備考 _____

※FAX 送信の場合は、ご利用氏名・生年月日は記入せず、診察券番号を必ず記入して下さい。
 ※このシートは、上記の使用目的以外には使用いたしません。



発行：住吉どらやきの会

(住吉区医師会 住吉区歯科医師会 住吉区薬剤師会 住吉区保健福祉課 あびこ病院 阪和病院 オリオノ病院 大阪府訪問看護ステーション 協会市南ブロック 住吉区地域包括支援センター連絡会 住吉区介護保険事業者連絡会 大阪急性期・総合医療センター)

担当患者様が

- 入院されます
- 入院されました

(発信先)

居宅介護支援事業所： _____

ご担当ケアマネジャー： _____ 様

TEL： _____ FAX： _____



(発信元)

地方独立行政法人 大阪府立病院機構 〒558-8558 大阪市住吉区万代東3-1-56
 大阪急性期・総合医療センター TEL:06-6692-1201 FAX:06-6692-2099

患者総合支援センター 担当MSW・担当Ns _____

_____ 病棟 担当Ns _____

いつもお世話になっております。

お手数ですが、**書面にて患者様情報をご提供**くださいますようお願い申し上げます。
(普段お使いの患者情報提供シートなど、書式はお任せします。)
 また、調整にあたりカンファレンス等ご希望がございましたらご教示くださいますようお願い申し上げます。

患者氏名	_____
生年月日	_____
ID	_____
入院日	年 月 日
備考	_____



発行：住吉どらやきの会

※このシートは上記の使用目的以外での使用は致しません。
 ※FAX送信の場合、個人情報特定を避けるため、ID記載をせず、患者氏名の一部を記載します。

ケアマネージャーにむけて

- 区内の病院・診療所・その他在宅医療に関連する情報を1冊にまとめた

「在宅医療情報冊子」を各事業所に訪問して配布。

在宅医療におけるかかりつけ医の決定や、退院時のかかりつけ医を探すツールとして活用周知。

- 「在宅療養を安全にスタートするためのチェックシート」を研修などで配布。医療ニーズが高い利用者の入退院時の支援に活用できることを周知。「大阪府 入退院支援の手引き」についても告知。

医療機関名		診療時間							対応可能な在宅医療								
医師名		月	火	水	木	金	土	日・祝	在宅酸素	<input type="checkbox"/>	認知症	<input type="checkbox"/>					
診療科目		9:00~13:00	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	気管切開	<input type="checkbox"/>	褥瘡処置	<input type="checkbox"/>				
所在地		15:30~18:00	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	人工呼吸器		中心静脈栄養					
電話		休診日	金・土の午後/水・日・祝							<input type="checkbox"/>	胃ろう	<input type="checkbox"/>	緩和ケア	<input type="checkbox"/>			
FAX		往診	①14:00~15:00頃 ②19:00~21:00頃							<input type="checkbox"/>	尿道カテーテル	<input type="checkbox"/>	終末期看取り	<input type="checkbox"/>			
ホームページ		訪問診療	③緊急時(看取りなど)は深夜でも可							◆その他特色							
		在宅療養支援診療所の届出	あり							受け入れれば、なるべく患者・家族の希望通りに対応します。 緊急時は、15分~遅くても2時間以内には、往診する様にしています。							
										ケアマネなどからの相談経路							
										<input type="checkbox"/>	電話	<input type="checkbox"/>	ファクス	<input type="checkbox"/>	面談	<input type="checkbox"/>	手紙
										相談時間帯							
										診療時間内							
										初診時は診療所での受診が必要ですか?							
										いいえ							

病院にむけて

- 平成29年度

「医療と介護の連携研修～地域の療養を支える資源について」

大阪急性期・総合医療センターで医師・看護師・その他の医療職・MSW
に対し、入退院時の連携時の困りごとやお願いを在宅医療を支える側の
視点で講演。

住民にむけて

- 平成29年度 住吉区医療・介護連携推進会議 主催
「退院から在宅に向けてどうするか？」というタイトルで
トークイベント開催。
企画・運営協力・パネラーとして登壇。



課題	今後の対応
<ul style="list-style-type: none"> ● 医師の中には介護保険制度や在宅医療の仕組みについての理解が不十分な方がいる 	<ul style="list-style-type: none"> ● 在宅医師に対して、在宅療養の様子や仕組みなどの認識を深めてもらえるよう、研修開催や情報発信が必要。
<ul style="list-style-type: none"> ● アンケートより 医療職と介護職の間で連携時に意思の疎通がうまくいかない、誤解が生じるなどの意見が多い 	<ul style="list-style-type: none"> ● 在宅側・病院側の双方に連携時のマナーの向上をめざす。区の推進会議にて「すみよしエチケット集(案)」を作成中。
<ul style="list-style-type: none"> ● 病院と在宅療養関係者の中で情報提供ツール(サマリーやシート)が安全で確実な取扱いが出来ていない場合がある 	<ul style="list-style-type: none"> ● 情報提供時の留意点などのケアマネジャーへの周知を徹底。
<ul style="list-style-type: none"> ● 本人の意思決定(家族の思いと本人の思いの違い)が曖昧である為、治療の決定・退院の場・看取りの場、スムーズに決まらないケースが多い 	<ul style="list-style-type: none"> ● 入院時を含め、高齢者の在宅生活における意思決定支援について、区民への啓発活動が必要。